

## ■ 決算のポイント

- ✓ 純損失24億305万円、前年度比約8.4億円悪化
- ✓ 施設運転管理等の委託先民間企業の人事費の増加などにより、  
維持管理経費が前年度比約14.8億円増
- ✓ 処理水量は前年度比2,994万立方メートル、4.7%増
- ✓ 関係市町の維持管理負担金は前年度比約13.9億円増

### 損益の状況 (消費税及び地方消費税を除く)

■ 収益	<b>491億4,383万円</b>	(対前年度比 +8億9,008万円)
■ 費用	<b>515億4,688万円</b>	(対前年度比 +17億3,421万円)
■ 純損失	<b>24億 305万円</b>	(対前年度比 ▲8億4,413万円)

- ✓ 収益の主なもの：維持管理負担金、一般会計繰入金等
- ✓ 費用の主なもの：汚水処理や維持管理の経費、減価償却費等

### 資本的収支の状況 (消費税及び地方消費税を含む)

■ 収入	<b>191億3,659万円</b>	(対前年度比 ▲23億5,980万円)
■ 支出	<b>245億9,771万円</b>	(対前年度比 ▲23億6,750万円)
■ 収支差	<b>▲54億6,112万円</b>	(対前年度比 + 770万円)

- ✓ 収入の主なもの：国庫補助金、建設負担金、企業債等
  - ✓ 支出の主なもの：施設の建設改良の経費、企業債の元金償還(57億円)
- ※ 収支差のマイナスは損益勘定留保資金等で補填

## ■ 業績ハイライト ( )は前年度実績

### 業務量 **6億7,262万立方メートル**※ (6億4,268万立方メートル)

※1日平均：50mプールで約737杯分に相当

- ・ 約565万人の家庭排水 (BOD:120~250mg/L) 等を良好な水質にして河川へ放流 (BOD:3.0mg/Lで放流)

### 維持管理 (税抜。減価償却費等を除く。)

#### 汚水処理等経費：約**269億円** 財源 市町負担金236億円 (約254億円)

- ・ 委託先民間企業等の人事費 72.6億円 (前年度比+8.2億円)
- ・ 老朽化が著しい施設の修繕費 75.1億円 (前年度比+3.7億円)

### 設備投資 (税込。翌年度繰越を除く。)

#### 建設改良費：約**189億円** 財源 国庫補助金 83億円 (約213億円) 市町負担金 48億円 県企業債 58億円

- ・ 老朽化した機械電気設備の改築等に約92億円
- ・ 耐震基準に適合しない施設の耐震化等に約50億円
- ・ 再生可能エネルギーの活用促進による温暖化対策等に約12億円

# 令和6年度 流域下水道事業会計 決算概要②

資料2

## ■ 財務ハイライト

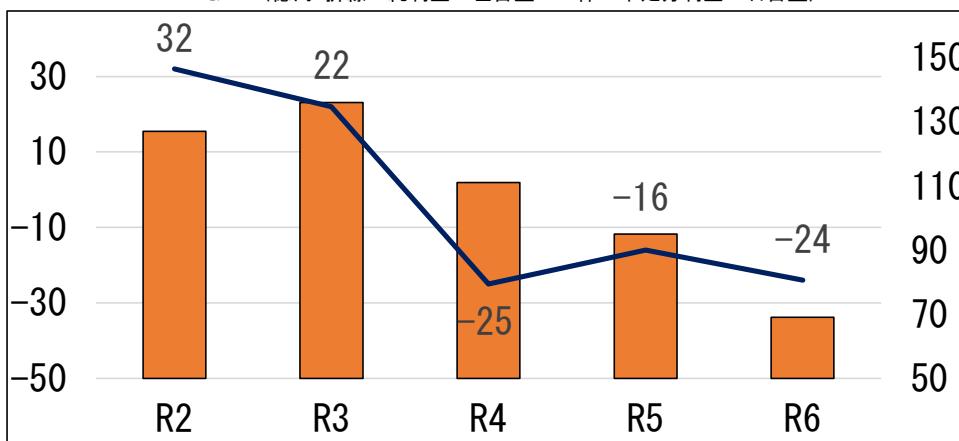
### ✓収益的収支の状況



消費税及び地方消費税を含まない



### ✓損益の推移 (億円 折線: 純利益・左目盛 棒: 未処分利益・右目盛)



### ✓資本的収支の状況



消費税及び地方消費税を含む



※ 資本的収入が不足する分は損益勘定留保資金等で補填

### ✓企業債残高の推移 (億円)

